

# 東京大学全学研究科等横断教育プログラム

## ASNET 科目

科目番号 4971240

IT ASIA 128

冬学期 月曜日 5時限 16:50-18:35 医学部教育研究棟 第1セミナー室

### SURVIVING CANCER IN ASIA

—アジアのがんにおける UNIVERSAL HEALTH COVERAGE(UHC)はどうあるべきなのか?—

UHC (Universal Health Coverage) とは、全ての人々が質の担保された保健医療サービスを受  
でき、サービス使用者に経済的困難を伴わない状態を指す概念です。

癌が急増しているアジアにおいて、どのような未来をつくっていけばよいのでしょうか？

10/5 赤座英之 東京大学教授

アジアのがんと UHC

Resource stratified guideline はアジアのがんの UHC の救世主になりうるか？

10/19 堀江重郎 順天堂大学教授

UHC の臨床評価

癌治療における在宅医療と QOL が UHC にもたらすものはなにか？

10.26 園田茂人 東京大学教授

アジアの人々はがんという疾病をどうとらえているのか？

「あなたはがんになったときどんな UHC があるべきだとおもいますか？ アジア学生意識調査の方法と課題

11.9 武見敬三 参議院議員

G7サミットと UHC

日本はアジアに向けて今何ができるのか？

11/20 橋本英樹 東京大学教授

コミュニティーベースで考えるアジアの癌の UHC

お金で買えない医療とはなにか

11/30 福田敬 国立保健科学院

アジアの癌医療における医療経済評価の現状と課題

各国の医療制度にみる QALY の効用と限界

12/7 三菱商事

ヘルステクノロジーが切り拓く世界

12/18 野崎慎仁郎

WHO 神戸センタープログラム & 学生発表 討論

12/21 野木森雅郁 アステラス製薬会長

製薬企業は UHC という概念にどのようにむきあっていくべきなのか&学生発表

### 連絡先

東京大学大学院情報学環・学際情報学府「総合癌研究国際戦略推進」寄附講座 赤座研究室

担当：河原 norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp